別紙1

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度　26　年度

市町村名	幸手市			
提案事業名	日光街道幸手宿まちなか回遊観光推進事業			
事業期間	26　年度　～　27　年度			
事業の必要性、目的	当市は日光街道の宿場町であったことから、旧家などが残されているが、ＰＲ不足を始め、その魅力を十分に発揮できていない。このため、ワークショップ等で市民による新たな切り口から日光街道及びその宿場町に眠る歴史的・文化課的資源を掘り起こし、その資源を活用し観光客をまちなかへと回遊させることにより、まちなかで観光客を迎い入れ、おもてなし、ふれあいを深めていただくとともに、まちなかの賑わいを創設し、幸手宿（商店街）の活性化へつなげる。このことにより、当市の新たな魅力を創出し、観光客の増加をはかる。			
成　果　指　標	（成果を検証する指標） 市への入込観光客数			
	（成果検証の具体的な方法） 市への入込観光客数の事業実施前と実施後の数値を比較し、増減数及び原因を分析する。			
	（上記の指標を設定した理由） 本事業の目的は入込観光客数の増加であるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （25年3月現在）	1,625,420人	目標値 （28年3月時点）	1,670,000人
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）		稼働率（目標）（%）	
	住民への公表方法 及び特記事項	市ホームページにおいて公表する。		

【成果指標と構成事業の関連性】

平成26年度　構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① 幸手宿まちあるき観光支援事業	ハード ソフト 間接補	ワークショップ等で市民による新たな切り口から日光街道及びその宿場町に眠る歴史的・文化課的資源を掘り起こし、その資源を活用し観光客をまちなかへと回遊させることにより、まちなかで観光客を迎い入れ、おもてなし、ふれあいを深めていただくとともに、まちなかの賑わいを創設し、幸手宿（商店街）の活性化へつなげる。このために幸手宿まちあるきマップを載せた観光マップを作成し、当市の新たな魅力をＰＲし、観光客の増加をはかる。	2,646
		合計	2,646

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	新たな観光資源を生かすほか、当市における多様な観光資源のＰＲを行い、さらには地域住民が主体となってまちなかで、観光客を迎い入れ、おもてなし、ふれあいを深めていただくとともに、まちなかの賑わいを創設することで、訪れる観光客の満足度を上げ、再び訪れたいと思われるような回遊観光を形成し、リピーターを増やす。
成果指標の達成見込み	地域と行政が一体となって本事業を推進し、全事業を総体的に組み合わせることにより、十分な成果を得られると判断した。